

Hitotonari.com

Selfpamphlet | Photograph | Listen | Write | Art : vol.2

2014年度 活動報告 <「セルフパンフレット作成と活用」事業について>



NPO法人
東京ひととなり支援協会

はじめに

《わたしが、「わたし」であり続けるために》

地域社会のつながりが希薄になっている近年、孤立やひきこもり、うつや認知症、さまざまな形の貧困等を抱えた方々の増加が問題となっています。誰もが自分らしさをもって自立し、安心した生活を続けていくためには、生きる意欲や生きがい、他者との心のつながりなどを持つことも欠かせません。しかし同時に今、それらを抱き続けることが難しい時代である、ということも否めません。ひとりひとりが、個々の存在そのものを尊重し合いながらこの時代を生きぬくために、まずは「自らが自分自身についてあらためて知り、大切にすること」が求められます。その思いは、「他者を、そして他者が大事に思う存在も大切にすることへとつながっていきます。

上に記した事業実施の背景、活動理念に基づき、より多くの人にセルフパンフレットを知っていただき、これを作成して活用してもらうこと、またセルフパンフレットの作成と活用を支援する作成サポーターを養成することなどを目的として、2014年度は独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業として「セルフパンフレットの作成と活用」を推進する事業について重点的な取り組みを行い、そのまとめとして、この報告書を作成いたしました。



「セルフパンフレット作成と活用」事業報告

セルフパンフレットとは...その人の歩みや思いを写真や文章で表した、A4サイズで見開き4ページ（A3の二つ折り）のしおりのようなものです。作成するとき、活用するときそれぞれ役割があります。

①実行委員会

セルフパンフレットとは何か、また作成の意義や活用の方法などを広く知っていただく事業を、計画的に実施していくために、実行委員会を立ち上げ、全5回の会議を行ってまいりました。実行委員にはNPO法人東京ひととなり支援協会理事のほか、台東区社会教育団体 傾聴研究会Heart&ハート代表、社会福祉士、台東区特別養護老人ホーム浅草館長、NPO法人日本子守唄協会理事長などが参加し、計画、実行、検証、改善を行ってまいりました。



②セルフパンフレット作成講習会（紹介、募集活動）

講習会では、まずセルフパンフレットとは何か、そして作成の意義や活用の方法というところを説明します。また、サンプルや作品を見てもらい、実際にiPadを使って写真や文章の入力、編集などが簡単にできるところをデモンストラレーションします。少人数を対象として回数を増やし、なるべく多くの方にセルフパンフレットを知っていただき、

作成に参加していただくように活動をいたしました。活動の場所は、生涯学習センターや特別養護老人ホーム、ピアサポートカフェや個人宅など、関心のありそうな場所や、ご紹介された方などを中心に、1名から15名くらいまでの小規模講習会を6月より開催し、実際に作成に結びついたのは、3月時点で作成中のものも含め、セルフパンフレットの数にすると全部で40作品近くになりました。

③セルフパンフレット作成サポーター養成講座

1回目は10月、2回目は11月、3回目は1月から3月にかけて作成サポーター養成講座を開催し、それぞれさまざまな方々が参加されました。特に3回目の講座は、NPO法人トータルサポートたいとうの3名の職員の方が、リーダー研修として受講されました。

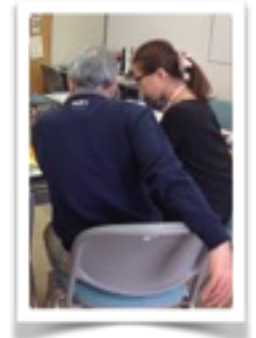
セルフパンフレットはひとりで作成するのは、実は大変難しい部分があります。表現するまでの段階で、これまでの自分をじっくり振り返り、気持ちや思考の整理をする必要があります。そのときに、誰かに自分の気持ちを受け止めてもらいながら作成することが非常に大切です。気持ちを受け止めてもらえることで、安心して自分のことを語り、気持ちや思いをまとめていくことができます。また、表現をする段階で、どのように自分を表現していくのか、そこでも相談できる相手がいると、さまざまなアイデアが浮かんでくることもあります。このように回想から実際の表現までが作成の段階ですが、ここでの作成サポーターの役割はとても大きく重要です。作成サポーターを育成することにより、セルフパンフレットを作成したい人に寄り添う支援が可能となります。受講者の皆さんはそこをしっかりと学び取ってくださったと思います。

作成サポーター養成のためには、さまざまなカリキュラムが必要となってきます。iPadの使い方をマスターすることはもとより、傾聴というものを理解する必要もあります。なによりも大切なのは、自分自身でまず自分のセルフパンフレットを作成する、ということになります。そのことによって、どのようなサポートが大切なのか、またサポーターがしてはならない行動などを身を以て理解してもらうことができました。



④作成サポート活動

セルフパンフレット作成サポーター養成講座を受講した方のなかから、実際にセルフパンフレットを作成する方のサポートを実践として行っていただきました。作成希望者はまず、誰に向けて、何のために作成するのか、ということを考えるのですが、そこからサポーターは作成者に寄り添います。本人自身が作成するなかで、どこまでがサポーターの役割なのかということ、実践のなかで体感していくことになります。



⑤作成スーパービジョン活動

作成サポーターが作成希望者の支援をする過程で、スーパーバイザーが作成サポーターに対して2回のスーパービジョンを行います。回想の段階と、iPadを使用したり、手作りしたりという表現の段階です。1回目は気持ちや思考の整理を通して、何を表現するのかというところまでがスムーズに進んでいくように、また2回目は表現したいものをきちんと表現するための技術的な部分を、それぞれ支援します。

⑥報告書の作成

セルフパンフレット作成講習会、セルフパンフレット作成サポーター養成講座、作成サポート活動、スーパービジョンがこの事業のひとつの流れ、まとめです。この4つの項目をまとめたうえで、作品発表会を3/28に開催いたしました。そのシンポジウム形式の作品発表会までについての報告を行うことを目的として、このまとめ報告書を作成いたしました。



⑦2015.3.28 ミニシンポジウム「セルフパンフレットってなに？」

2014年度の事業を通して作成されたセルフパンフレットのなかから、いくつかの作品をピックアップし、作成者本人のスピーチと専門家による基調講演の言葉を手がかりに、「セルフパンフレットってなに？」という問いに対するそれぞれの答えを見つける可能性への提供を目的として、シンポジウム形式の作品発表会を行いました。

小さめの部屋を用意していたため、42名の参加者で会場は熱気につつまれました。プログラムにあるように、2つの角度から専門家による基調講演と、作品を作成した方々の発表を行い、さまざまな貴重な言葉が発信されました。発言の内容はDVDにすべて収録されていますので、ぜひご覧くださいませ。(ご希望の方はご連絡を！)



プログラム

・ごあいさつ 特定非営利活動法人東京ひととなり支援協会理事

＜イントロダクション＞
セルフパンフレットとは セルフパンフレット作成法指導事業実行委員

＜テーマ1＞

福祉の現場から

●基調講演「ひとりひとりの人間性として大切にしたいこと」
講演者 加藤 真生子

プロフィール NPO法人精神障害者ピアサポートセンターこらーるたいとう代表、NPO法人障がい者権利擁護センターくれよんらいる代表員、全国ピアサポートネットワーク全国人、著書「こらーる物産一冊西暦と可憐な勇気を持ちたい」2013.4.6出版、「障害者のある人々の自立生活―当事者ソーシャルワーカーの可能性」2009.9現代文藝館、人間国宝が、あまのいかに美しい花見知りあふることの大切さを伝えている。

●作品発表

①NPO法人こらーるたいとう
・「自分の歩みを表現する」 林 正恵（こらーるたいとうメンバー）
・「返っていた種々の時間」 藤原 幸子（こらーるたいとうメンバー）

②台東区社会教育団体 福祉研究会Heart&Heart
・「高齢者施設での経験の取り組みから」 宇野 洋子（Heartメンバー）

③NPO法人トータルサポートたいとう
・「利用者に向き合うために」 宮尾、山本（トータルサポートたいとうスタッフ）

～休憩～

＜テーマ2＞

ひとりひとりの大切な、「思い」と「想い」

●基調講演「私を形づくるもの」
講演者 長岡 恵美子

プロフィール 一般社団法人 経団連事業サービス研修グループ副、東京総合医会をまわし、1983年に独立理事事務所に入社、国際会議のアレンジ、セッション指導者などを担当。米国留学を経て社会本部へ異動、企業の社会貢献活動推進、企業の社会的責任の推進などを担当し、SDGの掲げづくりに参加する経済界代表へのサポートも行って来た。また1%クラブのコーディネーターとして被災地のボランティア活動を支援、ライフワークとしてCSRや社会貢献活動において、企業とNPOの連携を推進している。社会問題が発生している最前線からの学びを通して、「問題を無いとわからない」との思いを持って活動している。

●作品発表

・原点回帰	長岡 恵美子
・進化し続けるK、そして母の思い	藤代 清子
・まのう、まのう、あした	岡中 明
・福祉の人生を伝える	真下 清子
・高野くんとはこんな人	高野 謙一
・「おとし」という半世紀の物語	鈴木 智香
・私は本気には行か	赤村 有花里
・111歳の人生を知る	中島 尚徳利

＜パネルディスカッション＞（会場からの質問にもお答えいたします）

パネルー 長岡 恵美子
藤代 清子
赤村 有花里
鈴木 智香
中島 尚徳利
ファシリテーター
渡辺あゆみ



hitotonari.com vol. 2

発行・企画 / 特定非営利活動法人東京ひととなり支援協会

〒110-0002 東京都台東区上野桜木1丁目15番9-203号

TEL: 090-3317-4987 FAX: 03-3822-2762

MAIL: oneself@tk-hitotonari.com <http://www.tk-hitotonari.com>

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業